

表4、臺北市汽車增加輛數—按自用、營業別分

單位：輛

年 (月) 別	總 計	大型自用	大型營業	小型自用	小型營業 ^①
民國57年	6,536	608	1,041	2,858	2,029
民國60年	2,230	35	208	1,676	311
民國65年	10,876	472	207	9,274	923
民國70年	26,275	461	565	24,110	1,139
民國75年	5,961	-861	1,359	2,881	2,582
民國80年	18,869	-589	-333	20,625	-834
民國85年	23,429	-334	35	20,353	3,375
民國90年	666	80	-4	820	-230
民國91年	10,472	-292	-280	11,776	-732
民國92年	16,739	56	-171	18,058	-1,204
民國93年 ^①	13,925	-357	223	-12,640	26,699
民國94年	17,193	57	223	5,533	11,380
民國95年	6,247	299	-7	-976	6,931
民國96年	-3,478	118	10	-9,513	5,907
民國97年	-10,653	-180	-149	-10,972	648
民國98年	3,702	-110	-119	-3,009	6,940
民國99年	3,795	57	448	-2,687	5,977
民國100年	18,987	45	212	8,054	10,676
1 月	4,689	-13	-10	2,673	2,039
2 月	664	17	4	317	326
3 月	1,408	6	4	363	1,047
4 月	1,313	-15	50	441	837
5 月	269	6	-24	-507	794
6 月	2,186	22	-22	1,305	881
7 月	3,169	5	12	1,928	1,224
8 月	-698	13	12	-802	79
9 月	1,957	-2	77	1,059	823
10 月	1,503	-8	6	742	763
11 月	1,300	17	89	441	753
12 月	1,227	9	14	94	1,110

附 註：①自93年9月起租賃小客(貨)車依使用目的改列為營業車；另自12月起將長期性租賃車，亦改列為營業車。93年底含2輛營業特種車。

②因經濟不景氣、油價上升，民眾使用運具轉換為大眾運輸系統，致購買新車意願降低，舊車辦理繳銷、停駛或報廢量增加，故車輛數減少。

資料來源：本處牌照管理科、北區分處牌照股。